

**問** 千種東小校舎は現地建替えを

**答** 統合問題とは別に考える

岡前 治生 議員

**問** 千種東小学校の危険校舎は統合問題と切り離して現地建替えを。

**市長** 小中学校のあり方検討会は立ち上げているが別問題として取り組む。

**問** 小中学校の一貫校の考え方は小学校の統廃合を進めるための大義名分ではないか。

**教育長** 子どもの発達段階を考えて9年間の教育を考えている。

**問** 水谷地区の小学校児童にスクールバスの運行を。

**教育長** 公共交通全体の中で考えたい。

**問** サラ金等の多重債務者のための相談窓口の設置を。

**福祉部長** 県で設置された対策協議会の協議内容をふまえて対応していきたい



市立知的障害者授産施設さつき園

い。

**問** 「後期高齢者医療制度」に対する市長の見解は。

**福祉部長** 保険料は支払い能力に応じた体系になっている。

**問** 障害者自立支援法の影響はでていないか。

**福祉部長** 利用者、事業者とも影響はでてい

**問** 物を言った参院選

**答** 総合計画を着実に進める

藤原 憲男 議員

**問** 先の参院選は予測以上に現政権党が大敗した。年金や格差等の不利な状況があるにせよ、国民の不安や不満が爆発した。ただ単に世論や風潮に流れたのではなく、一人一人が実感として今の生活や老後に期待ができないと、ひしひしと感じている現れだ。安倍首相の突然の辞任も、首相自身がこれ以上国民の憤りに耐えられないと判断した結果だ。

宍粟市の施策も「国民の生活が第一」とする方向に転換すべきものがあるのではないかと。既に国政でも論じられている。どう認識し市政に反映させるのか。

**市長** 政局の不安定は地方自治にも影響する。宍粟市は総合計画や町づくりの話し合いで決定した事を着実に進

めていく。それが市民生活の安定に出来るものだと思う。参画と協働を進め、財政の健全・安全を図る事が責任だと思っている。

**問** 学童保育の現状・方向は。

学童保育と地域子ども教室推進事業は厚労省と文科省の別の所管で、目的も多少の差があり、料金も有料と無料だ。どのようにすみ分け方向づけるか。

**教育長** 今年度より両事業を一体化・連携させた「放課後子どもプラン推進事業」として取り組み、検討する。



学童保育の様子